

## 令和4年度 第1回 山梨県がん対策推進協議会概要

1 日時 令和4年7月12日(火) 午後2時30分～3時45分

2 場所 オンライン開催

3 出席者(20人中17人出席)

飯島委員、飯野委員、榎本委員、大西委員、長田委員、小俣委員、笠井委員、木下委員、小池委員、齊藤委員、鈴木委員、津金委員、廣瀬委員、松田委員、山寺委員、依田委員、若尾委員

4 次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 山梨県がん対策推進計画(第3次)期間における県の主な取組みについて

資料1-1, 2 山梨県がん対策推進計画(第3次)期間における県の主な取組み状況

(2) 新型コロナウイルス感染症のがん検診への影響について

資料2 新型コロナウイルス感染症のがん検診への影響について

(3) 山梨県がん対策推進計画(第4次)の策定スケジュールについて

資料3 山梨県がん対策推進計画(第4次)策定スケジュール

(4) その他

委員提供資料

5 概要

(議事)

(1) 山梨県がん対策推進計画(第3次)期間における県の主な取組みについて

- ・資料1-1, 2 山梨県がん対策推進計画(第3次)期間における県の主な取組み状況  
(健康増進課から資料説明)

- ・がん教育総合支援事業について

(保健体育課) 今年度から文部科学省の委託事業として、がん教育総合支援事業を行う。

主な事業内容は、山梨県がん教育推進連絡会の開催、がん教育外部講師の研修会の開催、推進校(小・中・高等学校に各1校)の指定、山梨県がん教育指導者研修会の開催である。

(2) 新型コロナウイルス感染症のがん検診への影響について

- ・資料2 新型コロナウイルス感染症のがん検診への影響について  
(健康増進課から資料説明)

- ・各委員から新型コロナウイルス感染症の影響について報告

(検診機関からの報告概要)

がん検診の延期・中止や受診控え等により、令和2年度の受診者数は全体的に減少。令和3年度は回復しているが、まだ令和元年度と比べると低い状況。がんの発見数についても、令和2年度は減少している。

検診の実施に際して、受付時間の延長や予約制の導入、受診人数の制限等の感染対策を行うとともに、コロナ禍であっても検診が必要であることを啓発している。

(医療機関からの報告概要)

がん登録の件数については、コロナの影響により減少している。

手術件数も令和2年度、3年度で減少した医療機関があった一方で、放射線治療はコロナ禍においてもあまり影響なく治療を行うことができた。

また、緩和ケア病棟・病床をコロナ対策病棟として使用するなど、エンドオブライフケアへの影響もあった。

(山梨県看護協会からの報告概要)

コロナにより、面会が制限されてしまうことも影響し、在宅で看取りたいという家族が増加したが、地域の診療所の医師の協力により、対応することができた。

(検診の実施主体(市町村)からの報告概要)

巡回検診の受診者数が減少したが、予約枠の設定などできるだけ密にならないような工夫を検診機関と協力して行い、令和3年度は、令和元年度と同程度まで回復している。

### (3) 山梨県がん対策推進計画(第4次)の策定スケジュールについて

- ・資料3 山梨県がん対策推進計画(第4次)策定スケジュール

(健康増進課から資料説明)

質問・意見なし

### (4) その他

- ・委員提供資料

(委員から資料説明)

- ・がん診療連携拠点病院の要件見直しについて

(委員) 拠点病院の指定要件の見直しにより、相談支援や連携のあり方、医療従事者と患者がともに考えるがん医療等も明記されるため、次期計画策定に向け検討の必要がある

- ・骨髄移植を行った子供のワクチン接種について

(委員) 骨髄移植を行った子供が、再度予防接種を実施する場合、自己負担になる。他の都道府県などでは、市町村と連携して再接種に対する補助を行っているところもあるので、免疫を失った治療を行った人に対するサポートをご検討いただきたい。